

深谷市環境基本計画進行管理表 <令和6(2024)年度>

1. 目指すべき環境のすがたの体系

基本目標	1	地球への負荷が少ない脱炭素なまちづくり	作成日	令和7年5月16日
基本方針	1-1	「ゼロカーボンシティふかや」を実現する 深谷市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）	担当課	環境課
基本施策	1-1-(1)	温室効果ガス排出量の削減	担当者	岡部 孝司
	1-1-(2)	使用エネルギー削減への取組推進		
	1-1-(3)	再生可能エネルギー等のクリーンエネルギー導入促進		
	1-1-(4)	「ゼロカーボンシティふかや」実現に向けた地域循環共生圏の構築		

2. 環境指標

環境指標名	市域から排出される温室効果ガス
指標解説	「市域から排出される温室効果ガス」は、環境への負荷を軽減し、自然環境の保全が行われているか測る指標である。 これまでは埼玉県 市町村温室効果ガス排出量推計報告書における、本市の年間温室効果ガス総排出量を基準としていたが、本計画より環境省の作成する「自治体排出量カルテ」による本市の総排出量を使用する。

3. 指標値

			計画策定時	計画期間
目標値	年度目標の説明	単位	令和9 (2027)年度	令和6 (2024)年度
	国の地球温暖化対策実行計画と同様に、本市においても2030年度46%削減という目標値を基に、各年度の目標値を設定した。	千t-CO2	674.00	805.78
実績値	実績値の算出式(根拠説明)	単位	令和3 (2021)年度	令和6 (2024)年度
	R6年度に公表された環境省 自治体排出量カルテにおける本市の総排出量	千t-CO2	885.00	825.00

4. 指標評価及び目標達成に向けた取り組み内容(具体的に記載)
(目標達成率 A:100%、B:80%以上、C:60%以上、D:50%未満、E:0%)

指標評価	B	目標達成に向けた取組内容	【指標評価】 指標については目標値を超えることはできなかった。 【取組内容】 ・住宅用省エネ設備設置費補助事業について、補助金総額を増額(1,200万円→2,800万円)し、制度の充実を図った結果、319件に補助金を交付(令和5年度:219件) ・緑のカーテン設置推進のためのゴーヤ苗の無料配付及びコンテストの実施
------	---	--------------	---

5. 今後の方向性・課題・具体的な改善策 (A:現状維持、B:拡充、C:縮小、D:新規立案)

今後の方向性	B	課題・具体的な改善策	今年度の目標値に対して実績値は超えることができなかったが、これは前年度の排出量が想定より削減できなかったことが影響しており、単年でみればこの1年の削減量はほぼ目標どおりであるため、引き続き住宅用省エネ設備補助制度を継続・充実させることを中心に、排出量の削減を目指していく。
--------	---	------------	--

深谷市環境基本計画進行管理表 <令和6(2024)年度>

1. 目指すべき環境のすがたの体系

基本目標	1	地球への負荷が少ない脱炭素なまちづくり	作成日	令和7年5月16日
基本方針	1-1	「ゼロカーボンシティふかや」を実現する 深谷市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）	担当課	環境課
基本施策	1-1-(1)	温室効果ガス排出量の削減	担当者	岡部 孝司
	1-1-(2)	使用エネルギー削減への取組推進		
	1-1-(3)	再生可能エネルギー等のクリーンエネルギー導入促進		
	1-1-(4)	「ゼロカーボンシティふかや」実現に向けた地域循環共生圏の構築		

2. 環境指標

環境指標名	太陽光発電システム導入容量
指標解説	「太陽光発電システム導入容量」は固定価格買取制度開始後に認定を受けた、市内の事業者や市民等が設置した全ての太陽光発電システム導入容量であり、エネルギーの利活用を測る指標である。 前回の環境基本計画での2027年までの目標値を現時点で上回っていたため、資源エネルギー庁による第6次エネルギー基本計画に基づく、施策強化等の効果が実現した場合の野心的目標を参考に、新たな目標値を設定した。

3. 指標値

			計画策定時	計画期間
目標値	年度目標の説明	単位	令和9 (2027)年度	令和6 (2024)年度
	国の第6次エネルギー基本計画に基づく、施策強化等の効果が実現した場合の野心的目標を参考に、各年度の目標値を設定した。	kW	130,129	111,995
実績値	実績値の算出式(根拠説明)	単位	令和3 (2021)年度	令和6 (2024)年度
	資源エネルギー庁が公表している固定価格買取制度設備導入状況より ※実績値は、公表されている直近の年度末値(2024年3月末 新規認定分)を記載している。	kW	93,948	115,048

4. 指標評価及び目標達成に向けた取り組み内容(具体的に記載)
(目標達成率 A:100%、B:80%以上、C:60%以上、D:50%未満、E:0%)

指標評価	A	目標達成に向けた取組内容	【指標評価】 指標については目標値を上回ることができた。 【取組内容】 ・住宅用省エネ設備設置費補助事業について、補助金総額を増額(1,200万円→2,800万円)し、制度の充実を図った結果、太陽光発電システム154件に補助金を交付(令和5年度:102件) ・本事業について広報ふかや及び市ホームページに同制度を掲載
------	---	--------------	--

5. 今後の方向性・課題・具体的な改善策 (A:現状維持、B:拡充、C:縮小、D:新規立案)

今後の方向性	A	課題・具体的な改善策	太陽光発電設備の新規認定導入容量については引き続き県内でもトップクラスであるが、事業用太陽光発電設備についてはその伸びが著しく鈍化している。これは固定価格買取制度の調達価格の低下によるものと推測される。 一方、住宅用省エネ設備設置費補助金について令和5年度から補助金総額を増額したことにより、太陽光発電システムの補助件数も約1.5倍に増加し、本市表の目標値達成に大きく寄与することができたことから、引き続き住宅用省エネ設備補助制度について継続・充実を図っていく。
--------	---	------------	--

深谷市環境基本計画進行管理表 <令和6(2024)年度>

1. 目指すべき環境のすがたの体系

基本目標	1	地球への負荷が少ない脱炭素なまちづくり	作成日	令和7年5月16日
基本方針	1-2	深谷市の事務事業から出るCO2の削減 深谷市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）	担当課	環境課
基本施策	1-2-(1)	公共施設におけるエネルギー使用量削減に向けた取組の実施	担当者	岡部 孝司
	1-2-(2)	省エネルギー設備、新エネルギーの導入推進		
	1-2-(3)	公共施設等におけるエネルギー効率改善		
	1-2-(4)	公共施設の緑化推進		

2. 環境指標

環境指標名	市の事務事業から排出される温室効果ガス
指標解説	今回の見直しに伴い、国が発表する各施設が契約する電力会社ごとの係数を使用し、実際に排出されている数値に近い形の算出方法に変更する。 電力会社ごとの係数が下がることにより、排出量も下がっていくこととなるため、係数の低い電力会社と契約することで、事務事業での温室効果ガス排出量も下がっていく。

3. 指標値

			計画策定時	計画期間
目標値	年度目標の説明	単位	令和9 (2027)年度	令和6 (2024)年度
	国の地球温暖化対策実行計画と同様に、本市においても2030年度46%削減という目標値を基に、各年度の目標値を設定した。	t-CO2	13,328	16,158
実績値	実績値の算出式(根拠説明)	単位	令和3 (2021)年度	令和6 (2024)年度
	エネルギーの使用の合理化等に関する法律に基づいて経済産業省に毎年度報告する、市の事務事業から排出される温室効果ガスの総排出量	t-CO2	17,573	16,484

4. 指標評価及び目標達成に向けた取り組み内容(具体的に記載)
(目標達成率 A:100%、B:80%以上、C:60%以上、D:50%未満、E:0%)

指標評価	B	目標達成に向けた取組内容	【指標評価】 前年度に比べ排出量は減少しているものの、目標以下となってしまった。多くの施設は取組内容によりエネルギー使用量を減らすことができているが、新型コロナウイルス5類移行等の影響により観光需要が高まっていく中、それらに関わる施設の使用量が増えている。 【取組内容】 ・職員向け省エネ、節電の啓発 ・施設担当課による省エネ設備への更新
------	---	--------------	---

5. 今後の方向性・課題・具体的な改善策 (A:現状維持、B:拡充、C:縮小、D:新規立案)

今後の方向性	B	課題・具体的な改善策	・現時点でエネルギー使用量を減らすことができている施設に関しても、取組には限界があることから今後さらなる削減は見込みづらい。啓発や設備の更新による削減量に限界が見え始めている。 ・中期的に事務事業について抜本的な温室効果ガス排出量削減が期待できる取組が予定されていないことから、昨年度から検討を始めた公共施設へ供給している電力のグリーン化について引き続き検討していく。
--------	---	------------	---

深谷市環境基本計画進行管理表 <令和6(2024)年度>

1. 目指すべき環境のすがたの体系

基本目標	1	地球への負荷が少ない脱炭素なまちづくり	作成日	令和7年5月16日
基本方針	1-3	気候変動への適応 深谷市気候変動適応計画	担当課	環境課
基本施策	1-3-(1)	科学的知見の情報収集	担当者	岡部 孝司
	1-3-(2)	対策の緊急性と連携		
	1-3-(3)	影響のモニタリング		
	1-3-(4)	市民・事業者・滞在者・行政との情報共有と連携		

2. 環境指標

環境指標名	緑のカーテンコンテスト応募者数
指標解説	緑のカーテンは温暖化・緑化対策のために重要であり、深谷市でも環境コンテストを通じて、緑のカーテンの普及に取り組んでいく。

3. 指標値

			計画策定時	計画期間
目標値	年度目標の説明	単位	令和9 (2027)年度	令和6 (2024)年度
	令和3年度の応募状況を勘案し、さらなる応募数の増加を目指し、各年度の目標値を設定	件	100	88
実績値	実績値の算出式(根拠説明)	単位	令和3 (2021)年度	令和6 (2024)年度
	緑のカーテンコンテスト応募実績	件	79	40

4. 指標評価及び目標達成に向けた取り組み内容(具体的に記載)
(目標達成率 A:100%、B:80%以上、C:60%以上、D:50%未満、E:0%)

指標評価	D	目標達成に向けた取組内容	【指標評価】 令和6年度については目標値を大幅に下回った。主な理由としては猛暑により生育不良、枯れてしまったという市民の意見がある一方、リピーターが減ってきた。 【取組内容】 ・市民向けゴーヤ苗無料配付 ・公共施設及び事業者向けゴーヤ苗無料配付(新規)
------	---	--------------	--

5. 今後の方向性・課題・具体的な改善策 (A:現状維持、B:拡充、C:縮小、D:新規立案)

今後の方向性	A	課題・具体的な改善策	・天候に左右される事業ではあるが予算等現状維持の中で、公共施設及び事業者向けの無料配付を新たに実施する等、応募促進につながる改善を実施したが結果に結びつけることはできなかった。 ・一方で無料配付に関しては堅調であり、緑のカーテンの普及という目的は配付である程度達成できているという見方もできることから、今後も同様の流れが続くのであればコンテストのあり方を検討していく。
--------	---	------------	---

深谷市環境基本計画進行管理表 <令和6(2024)年度>

1. 目指すべき環境のすがたの体系

基本目標	2	資源を有効に生かす無駄の少ないまちづくり	作成日	令和 7年 5月 1日
基本方針	2-1	3Rの推進とごみ排出量の削減	担当課	環境衛生課
基本施策	2-1-(1)	ごみの3R(発生抑制・再使用・再生利用)推進による循環型社会の実現	担当者	小舟 淳一
	2-1-(2)	分別の促進による処分量の削減		

2. 環境指標

環境指標名	市民1人1日あたりの家庭系ごみの排出量
指標解説	資源物及び使用済小型家電を除く家庭系ごみの市民1人1日あたりの平均排出量であり、ごみの発生が抑制され、再利用が促進されているかを測る指標

3. 指標値

			計画策定時	計画期間
目標値	年度目標の説明	単位	令和9 (2027)年度	令和6 (2024)年度
	深谷市第2次総合計画後期基本計画における目標値と同じ目標値を設定	g/人・日	668	701
実績値	実績値の算出式(根拠説明)	単位	令和3 (2021)年度	令和6 (2024)年度
	市民1人1日あたりのごみの排出量は、深谷市全体の家庭から出るごみの総量より、資源物及び使用済小型家電のごみの量を除き家庭系ごみを人口と年日数で除したものである。	g/人・日	723	706

4. 指標評価及び目標達成に向けた取り組み内容(具体的に記載)
(目標達成率 A:100%、B:80%以上、C:60%以上、D:50%未満、E:0%)

指標評価	B	目標達成にむけた 取組内容	・広報誌にてごみ減量化の啓発を行った。
------	---	------------------	---------------------

5. 今後の方向性・課題・具体的な改善策 (A:現状維持、B:拡充、C:縮小、D:新規立案)

今後の方向性	A	課題・具体的な改善策	持続可能な資源循環型社会の構築には、ごみの減量化やリサイクルを心がけている市民を増やし、ごみ排出量の削減を図ることが大切である。市民のごみ減量への取組みやリサイクルへの取組は浸透しているが、更なる「ごみの減量」と「リサイクルを推進する意識の向上」のため、市民への情報発信を引き続き行うこととする。
--------	---	------------	--

深谷市環境基本計画進行管理表 <令和6(2024)年度>

1. 目指すべき環境のすがたの体系

基本目標	2	資源を有効に生かす無駄の少ないまちづくり	作成日	令和7年4月11日
基本方針	2-2	適切な廃棄物処理の実施	担当課	環境衛生課
基本施策	2-2-(1)	廃棄物処理施設の整備	担当者	門倉 康広
	2-2-(2)	不法投棄などによる未処理廃棄物量の削減		

2. 環境指標

環境指標名	不法投棄の苦情受付件数
指標解説	市民等からの不法投棄の苦情通報を受付した件数を示す指標

3. 指標値

			計画策定時	計画期間
目標値	年度目標の説明	単位	令和9 (2027)年度	令和6 (2024)年度
	過去5年間における不法投棄の苦情通報の最も少なかった件数を下まわ ることを目指し、目標値を設定した。	件	11	11
実績値	実績値の算出式(根拠説明)	単位	令和3 (2021)年度	令和6 (2024)年度
	不法投棄相談受付台帳により	件	12	21

4. 指標評価及び目標達成に向けた取り組み内容(具体的に記載)

(目標達成率 A:100%、B:80%以上、C:60%以上、D:50%未満、E:0%)

指標評価	C	目標達成 に向けた 取組内容	・ごみゼロ運動の実施(春と秋の年2回) ・不法投棄禁止等を周知する啓発看板の配布(ごみのポイ捨て禁止看板:31枚配布、不 法投棄禁止看板:31枚配布) ・深谷市くらしの環境美化条例の運用(空地・空家の雑草等適正管理の指導通知発送件 数:73件、除草等により是正された件数:48件) ・荒川クリーン協議会に参加(河川敷に投棄されたごみの一斉撤去の実施)
------	---	----------------------	--

5. 今後の方向性・課題・具体的な改善策 (A:現状維持、B:拡充、C:縮小、D:新規立案)

今後の方向性	A	課題・ 具体的な 改善策	不法投棄は、市で収集・処理が困難な家電製品や建築廃材などが投棄されている状況で ある。不法投棄の行為者が特定できる場合や産業廃棄物の不法投棄など悪質なものに ついては、警察や県などの関係機関と連携して対応を行なっているが、最終的には行為 者の特定に至らないため、市で回収をせざるを得ない状況である。現在、市が対応可能 な不法投棄物については、すべて回収している。また啓発看板の市民への配布も年々増 加しており、市民の監視意識の向上につながっている。
--------	---	--------------------	---

深谷市環境基本計画進行管理表 <令和6(2024)年度>

1. 目指すべき環境のすがたの体系

基本目標	3	自然が守られるまちづくり	作成日	令和7年4月15日
基本方針	3-1	自然やみどりの環境の保全	担当課	公園緑地課
基本施策	3-1-(1)	自然緑地の適正管理、公園等の緑地の保全	担当者	倉林 和利
	3-1-(2)	水辺の環境保全の推進		

2. 環境指標

環境指標名	市内の公園面積
指標解説	身近にある自然と親しめ、憩いの場である市内全体の公園面積を示す指標

3. 指標値

			計画策定時	計画期間
目標値	年度目標の説明	単位	令和9 (2027)年度	令和6 (2024)年度
	深谷市緑の基本計画における令和11(2029)年度整備目標値を基に、目標値を設定した。	ha	156.53	153.96
実績値	実績値の算出式(根拠説明)	単位	令和3 (2021)年度	令和6 (2024)年度
	平成28年度末の市内公園面積を基に、令和6年度末までに新規に整備した公園(帰属含む)の面積の合計を記載している。	ha	147.84	147.91

4. 指標評価及び目標達成に向けた取り組み内容(具体的に記載)
(目標達成率 A:100%、B:80%以上、C:60%以上、D:50%未満、E:0%)

指標評価	B	目標達成に向けた取組内容	深谷市緑の基本計画に基づき関係各課や関係機関と連携をとり、緑地の確保に向け事業を進めている。
------	---	--------------	--

5. 今後の方向性・課題・具体的な改善策 (A:現状維持、B:拡充、C:縮小、D:新規立案)

今後の方向性	A	課題・具体的な改善策	深谷市緑の基本計画に基づき関係各課や関係機関と連携をとり、緑地の確保に向け事業を進めていく。
--------	---	------------	--

深谷市環境基本計画進行管理表 <令和6(2024)年度>

1. 目指すべき環境のすがたの体系

基本目標	3	自然が守られるまちづくり	作成日	令和7年4月15日
基本方針	3-2	生き物の多様性の保全	担当課	農業振興課
基本施策	3-2-(1)	地域の生態系の保全	担当者	大島 智弘
	3-2-(2)	特定外来生物対策		

2. 環境指標

環境指標名	アライグマによる農作物被害面積
指標解説	アライグマの捕獲により農地への被害面積の増加を抑え、在来生物を保護し、優良な農地の保全を図る指標

3. 指標値

			計画策定時	計画期間
目標値	年度目標の説明	単位	令和9 (2027)年度	令和6 (2024)年度
	アライグマの捕獲頭数は増加しているが、農業被害面積の拡大を防ぐことを目指し、目標値を設定した。	a	101	101
実績値	実績値の算出式(根拠説明)	単位	令和3 (2021)年度	令和6 (2024)年度
	市内3農協と農業共済組合に実績を確認した。 ※令和6年度分実績値より算出方法を変更	a	222	0

4. 指標評価及び目標達成に向けた取り組み内容(具体的に記載)
(目標達成率 A:100%、B:80%以上、C:60%以上、D:50%未満、E:0%)

指標評価	A	目標達成に向けた取組内容	・深谷市鳥獣害対策協議会において、野生動物侵入防止用電気柵の貸出し、購入経費補助を行った。 ・アライグマ捕獲用箱ワナの貸出しを行い、令和6年度は市内で685頭のアライグマが捕獲された。
------	---	--------------	---

5. 今後の方向性・課題・具体的な改善策 (A:現状維持、B:拡充、C:縮小、D:新規立案)

今後の方向性	A	課題・具体的な改善策	深谷市鳥獣害対策協議会に対し、有害鳥獣から農産物の被害を防止するために実施する対策に係る経費を対象とする補助を行う。その補助金をもって、侵入防止用電気柵の購入経費への補助を実施する。
--------	---	------------	---

深谷市環境基本計画進行管理表 <令和6(2024)年度>

1. 目指すべき環境のすがたの体系

基本目標	4	健康で安全に暮らせるまちづくり	作成日	令和7年4月11日
基本方針	4-1	安全な生活環境の保全	担当課	環境課
基本施策	4-1-(1)	湧水・地下水・土壌などの環境の保全	担当者	荒木 守
	4-1-(2)	健康を脅かす有害物質等の監視		

2. 環境指標

環境指標名	河川水質環境基準(BOD)達成率
指標解説	市内河川水質調査において、河川水質基準を達成した箇所の割合で、公害対策が推進されていることを測る指標

3. 指標値

			計画策定時	計画期間
目標値	年度目標の説明	単位	令和9 (2027)年度	令和6 (2024)年度
	全ての測定地点で河川水質基準の達成を目指し、目標値を設定した。	%	100.0	100.0
実績値	実績値の算出式(根拠説明)	単位	令和3 (2021)年度	令和6 (2024)年度
	環境基準達成地点数(3地点)÷環境基準適用地点数(4地点)	%	0.0	75.0

4. 指標評価及び目標達成に向けた取り組み内容(具体的に記載)
(目標達成率 A:100%、B:80%以上、C:60%以上、D:50%未満、E:0%)

指標評価	C	目標達成に向けた 取組内容	・市内の環境基準適用河川の4つの場所で2ヶ月に一度、BODを含めた水質測定を実施した。
------	---	------------------	---

5. 今後の方向性・課題・具体的な改善策 (A:現状維持、B:拡充、C:縮小、D:新規立案)

今後の方向性	A	課題・具体的な改善策	河川の水質については、水路工事や気象条件等による流入水量の変動から大きな影響を受けることも多いが、汚染原因となるものに関して、県や河川浄化美化団体などとも連携しながら解消に努めていく。 野菜加工工場の排水に起因すると思われる河川の水質悪化が確認されているため、引き続き指導権限を持つ県北部環境管理事務所と監視、指導を行っていく。
--------	---	------------	---

深谷市環境基本計画進行管理表 <令和6(2024)年度>

1. 目指すべき環境のすがたの体系

基本目標	4	健康で安全に暮らせるまちづくり	作成日	令和7年5月16日
基本方針	4-2	心休まる環境の保全	担当課	環境課
基本施策	4-2-(1)	空気のきれいさ・静けさなどの生活環境の保全	担当者	荒木 守

2. 環境指標

環境指標名	公害苦情相談処理率
指標解説	公害苦情の相談に対し、解決に至った割合を示す指標

3. 指標値

			計画策定時	計画期間
目標値	年度目標の説明	単位	令和9 (2027)年度	令和6 (2024)年度
	全案件について解決することを目指し、目標値を設定した。	%	100.0	100.0
実績値	実績値の算出式(根拠説明)	単位	令和3 (2021)年度	令和6 (2024)年度
	解決した公害苦情件数÷公害苦情総数 (1÷1)	%	60.0	100.0

4. 指標評価及び目標達成に向けた取り組み内容(具体的に記載)
(目標達成率 A:100%、B:80%以上、C:60%以上、D:50%未満、E:0%)

指標評価	A	目標達成に向けた 取組内容	・騒音、振動、悪臭などに関する外部研修への参加 ・公害苦情の関係者を集めた意見交換会の開催 ・定期的なパトロール
------	---	------------------	--

5. 今後の方向性・課題・具体的な改善策 (A:現状維持、B:拡充、C:縮小、D:新規立案)

今後の方向性	A	課題・具体的な 改善策	引き続き関係機関や関係部署などと連携を図り、法令に基づき適切及び迅速に対応していく。
--------	---	----------------	--

深谷市環境基本計画進行管理表 <令和6(2024)年度>

1. 目指すべき環境のすがたの体系

基本目標	5	協働で環境を守るまちづくり	作成日	令和7年5月13日
基本方針	5-1	環境への関心の喚起と環境情報の提供	担当課	学校教育課
基本施策	5-1-(1)	学校や市民への環境学習機会の確保	担当者	長谷川 隼也
	5-1-(2)	環境情報ツールの普及促進		

2. 環境指標

環境指標名	市内小・中学校におけるエコライフDAYの参加実施率
指標解説	埼玉県と県内の各市町村、学校、事業所等が協力・連携して実施するエコライフDAYへの市内小・中学校における参加率であり、簡単なチェックシートを利用し、省エネ・省資源など環境に配慮した生活を1日実践することにより、地球温暖化防止のためのライフスタイルを見直すきっかけづくりを示す指標

3. 指標値

			計画策定時	計画期間
目標値	年度目標の説明	単位	令和9 (2027)年度	令和6 (2024)年度
	毎年度、市内全小・中学校の参加を目指し、目標値を設定した。	%	100.0	100.0
実績値	実績値の算出式(根拠説明)	単位	令和3 (2021)年度	令和6 (2024)年度
	市内小中学校の実施校数/市内小中学校数	%	96.7	96.7

4. 指標評価及び目標達成に向けた取り組み内容(具体的に記載)
(目標達成率 A:100%、B:80%以上、C:60%以上、D:50%未満、E:0%)

指標評価	B	目標達成に向けた取組内容	・市内小・中学校にエコライフDAYの参加呼びかけ ・児童・生徒へチェックシートをデジタルで配布 ・長期休業日・週末を利用した家庭での活用 ・チェックシートに基づいた地球温暖化対策の推進
------	---	--------------	---

5. 今後の方向性・課題・具体的な改善策 (A:現状維持、B:拡充、C:縮小、D:新規立案)

今後の方向性	B	課題・具体的な改善策	学校教育課では公立小中学校の参加を呼びかけており、公立小中学校は全校で実施できた。 公立小中学校においても、全学年で実施していない学校もあることから、より多くの生徒が実践できるよう努めていきたい。
--------	---	------------	---

深谷市環境基本計画進行管理表 <令和6(2024)年度>

1. 目指すべき環境のすがたの体系

基本目標	5	協働で環境を守るまちづくり	作成日	令和 7年 5月 1日
基本方針	5-2	各主体間の連携強化と環境保全活動の実施	担当課	環境衛生課
基本施策	5-2-(1)	人づくりやネットワーク構築の支援	担当者	小舟 淳一
	5-2-(2)	環境保全活動の開催、関連団体への支援		

2. 環境指標

環境指標名	集団資源回収量
指標解説	深谷市リサイクル活動推進奨励金交付要綱に定める登録団体における集団資源回収量で有価物の資源化を測る指標

3. 指標値

			計画策定時	計画期間
目標値	年度目標の説明	単位	令和9 (2027)年度	令和6 (2024)年度
	深谷市第2次総合計画後期基本計画における目標値と同じ目標値を設定	t	3,150	3,060
実績値	実績値の算出式(根拠説明)	単位	令和3 (2021)年度	令和6 (2024)年度
	深谷市リサイクル活動推進奨励金要綱に定める登録団体(276団体)のうち令和6年度活動団体(115団体)の1年間の集団資源回収量である。	t	1,809	1,632

4. 指標評価及び目標達成に向けた取り組み内容(具体的に記載)
(目標達成率 A:100%、B:80%以上、C:60%以上、D:50%未満、E:0%)

指標評価	D	目標達成に向けた 取組内容	・広報誌にて集団資源回収の周知を行い、資源再利用の推進とごみの減量化の啓発を行った。 ・令和4年1月より対象品目に6種(雑がみ・シュレッダーごみ・スチール缶・スプレー缶・ペットボトル・ペットボトルキャップ)を追加した。
------	---	------------------	--

5. 今後の方向性・課題・具体的な改善策 (A:現状維持、B:拡充、C:縮小、D:新規立案)

今後の方向性	A	課題・具体的な改善策	紙資源のリサイクルを徹底するため、「ごみの分け方・出し方」に「雑紙」・「リサイクル」・「地域の集団回収」について掲載する。このほか、市の各イベント、広報及びHP等において、資源再利用のPRを行うことにより、資源の再資源化の推進を図る。
--------	---	------------	---